

冬に流行する 子どもの感染症の予防と対応

2024年12月10日

理事 川上一恵

秋から冬に流行る感染症

- 呼吸器系感染症
 - インフルエンザウイルス（A型、B型）
 - 新型コロナウイルス
- 消化器系感染症
 - ロタウイルス
 - ノロウイルス
- その他
 - ヒトパルボウイルスB19（伝染性紅斑）

インフルエンザ

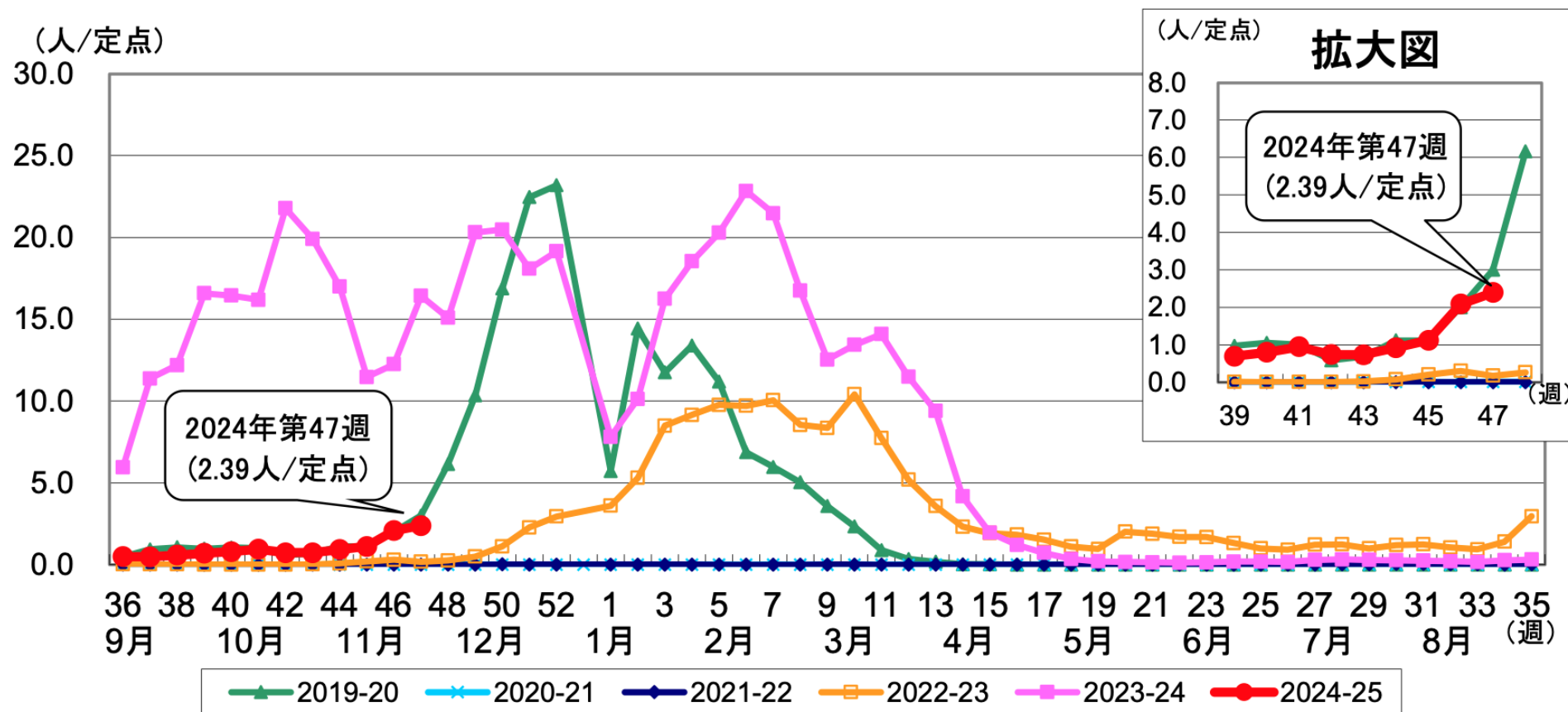


図1. 東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/assets/flu/2024/Vol27No10.pdf>

新型コロナ

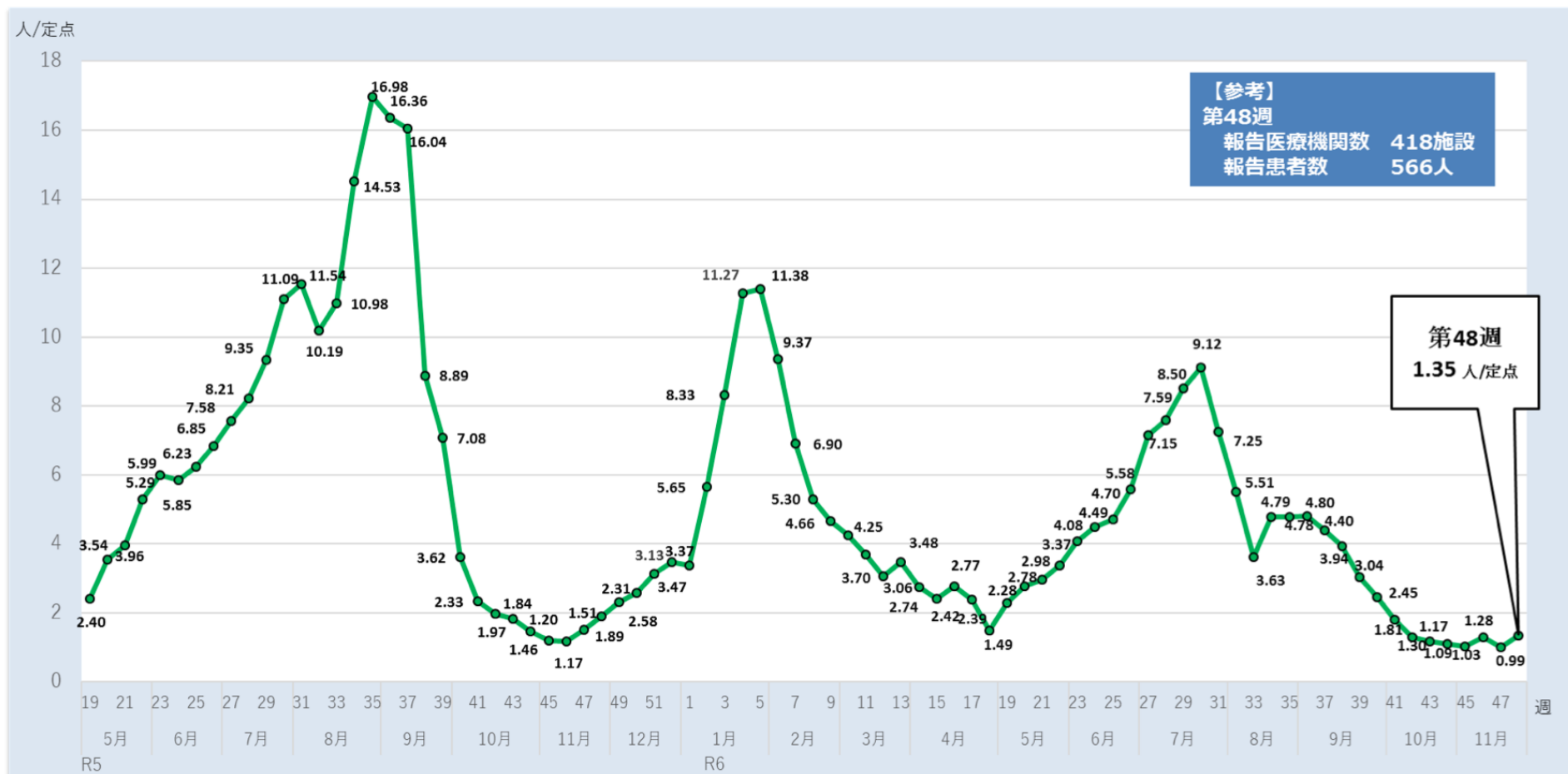
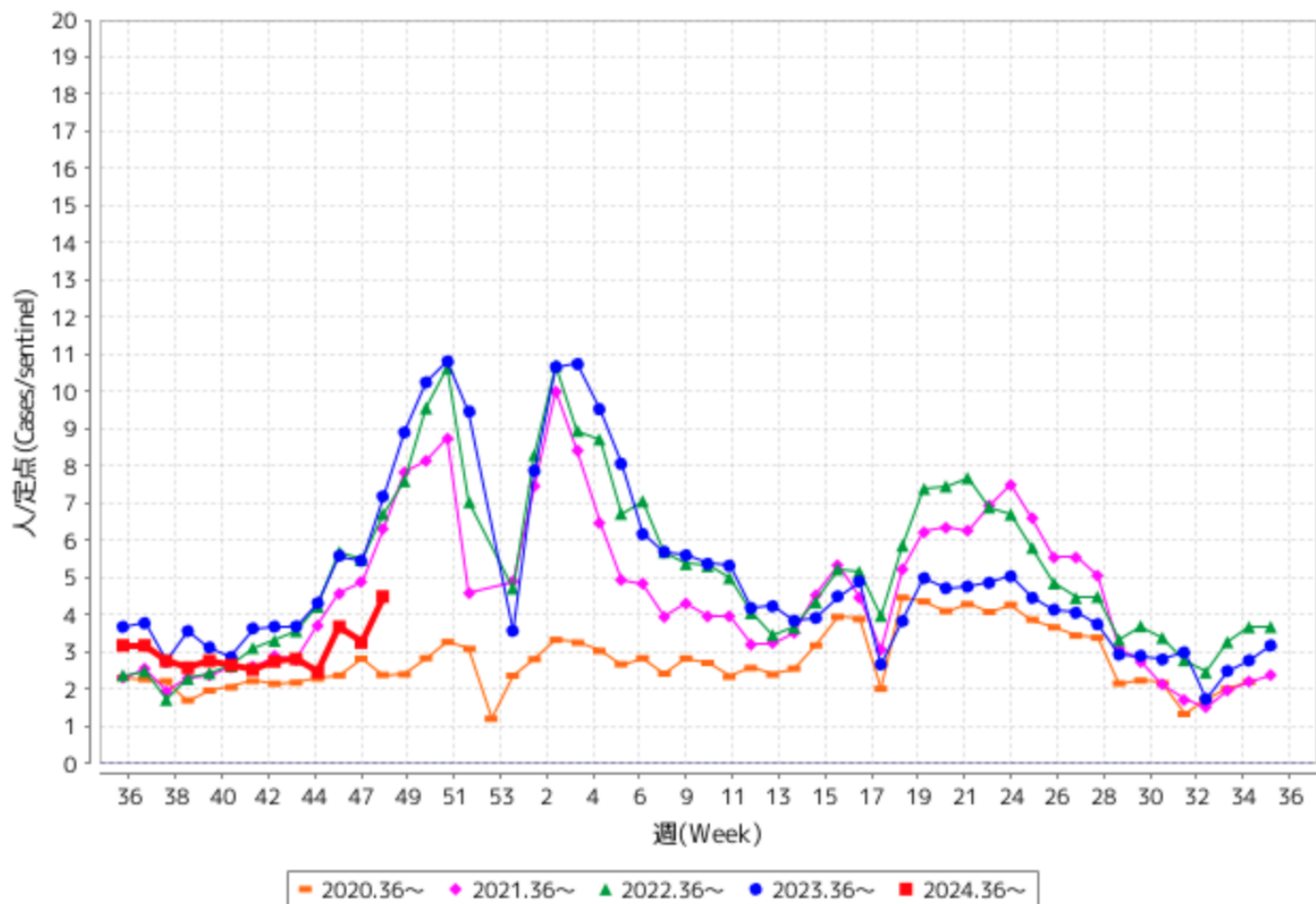


図 1. 定点医療機関当たり患者報告数

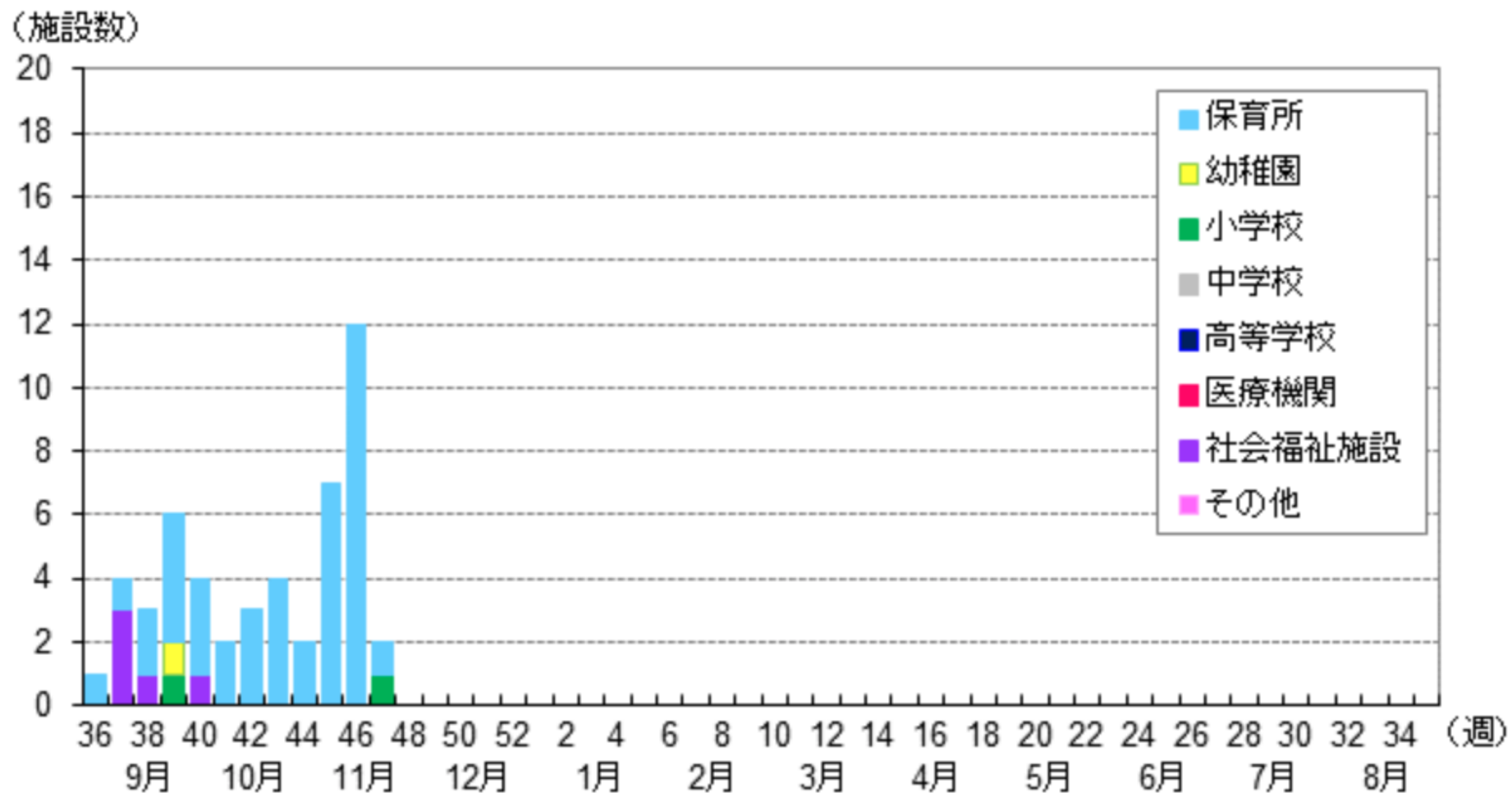
感染性胃腸炎

1 定点医療機関当たり患者報告数 2024年12月1日（第48週）まで



感染性胃腸炎

2024-2025年シーズンの施設別発生状況



冬に流行る感染症の予防（基本）



- 石鹸と流水による手洗い

水が冷たいとしっかり洗えないので、温水が使えると良い

- 咳エチケット

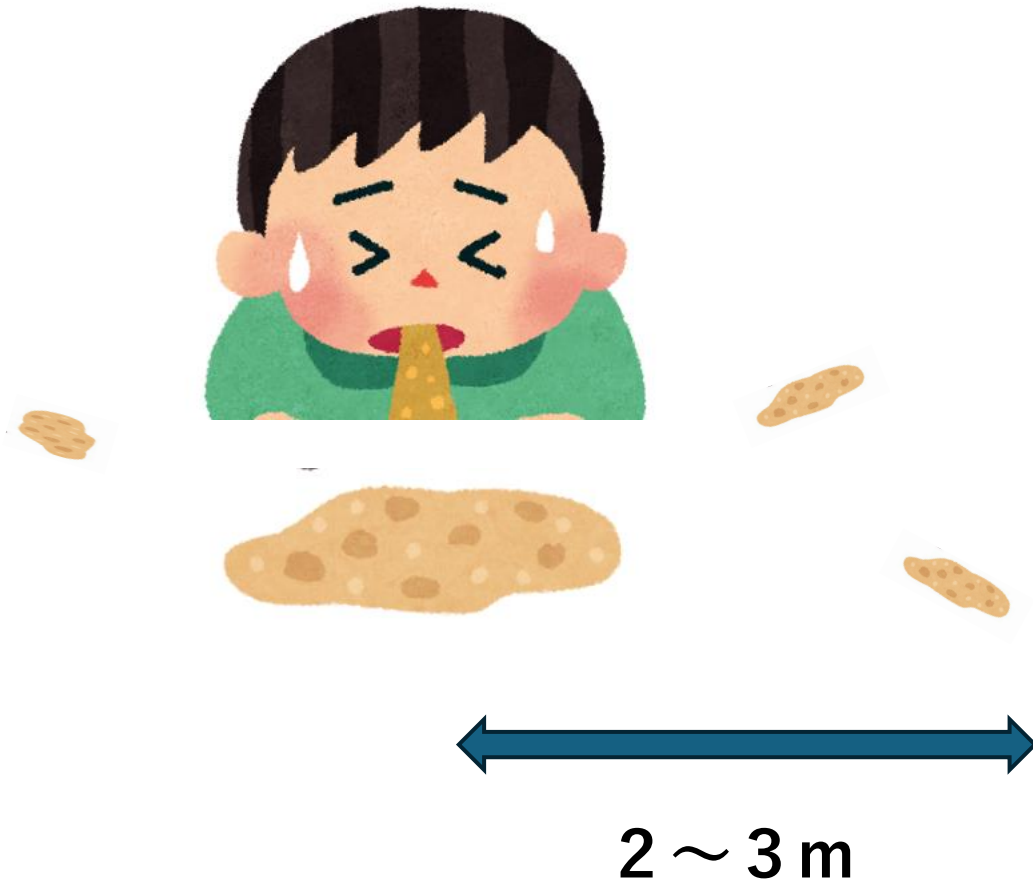


- アルコールによる手指消毒

ロタウイルス、ノロウイルス、
アデノウイルスには効かない



吐物による感染拡大を防ぐために



- 1) 嘔吐物にペーパータオルや新聞紙を被せる
- 2) 消毒液をかける
- 3) 嘔吐物を外から中に集めるようにして取り除く
- 4) 最初の嘔吐物から2～3m広い範囲にペーパータオルを敷き、消毒液をかけてから拭き取る

家庭でできるノロウイルス対策

普段からのノロウイルス対策

手洗い ノロウイルスを運ぶのはあなたの手！



食事 特に子供やお年寄りなど抵抗力の弱い方は、汚染のおそれのある二枚貝等の食品には、中心部まで十分火を通す。

自分や家族がノロウイルスに感染したかもしれないと思ったら

おう吐物の処理 おう吐物には大量のノロウイルス！

- おう吐物処理セットは事前に準備
- セットの例 ペーパータオル、白い布、ごみ袋、バケツ、マスク、手袋、ガウン、スリッパ、塩素系漂白剤、ペットボトル

● 処理の手順を覚えておく



消毒

- キッチン 調理器具、ふせん、スポンジ等
熱湯で消毒(85℃ 1分以上)または0.02%消毒液に浸す。
- トイレ ドアノブ、水洗レバー、便座等
0.02%消毒液を浸したペーパータオル等で拭く。

● 衣類・リネン類

ウイルスが飛び散らないように静かにもみ洗いし、熱水洗濯(85℃ 1分以上)または0.02%消毒液に浸す。

※ 消毒液(塩素系漂白剤)には、金属の腐食作用があるため、金属部は消毒後拭き取る。

風呂

- ・下痢をしている人は、一番最後に入浴する。タオル、バスタオルは共用しない。
- ・風呂の水は毎日換え、浴槽、床、洗面器、椅子等は毎日洗浄する。

調理

手や調理器具等からの食品汚染を防ぐため、手洗いや手袋着用、器具の洗浄・消毒を徹底する。

東京都福祉保健局

ノロウイルス Q&A

Q1 注意が必要な季節は？ 例年、特に冬季に流行します。

Q2 どのように感染する？ ノロウイルスはヒトの体内で増殖し、便やおう吐物中に排出されます。その後は、主に次の経路でヒトに感染します。



Q3 感染したら症状は？

潜伏時間	感染後、24時間～48時間で発症
主な症状	吐き気、おう吐、下痢、腹痛、軽い発熱。通常1～2日程度続く。感染しても症状が出ない、または非常に軽い(胃がむかつく、おならが出やすいなど)場合もある。
ウイルスの排出	感染すると、便やおう吐物中にウイルスが排出される。症状がない場合や回復後も1週間程度、便中に排出されているので周囲の人にうつさない注意が必要。

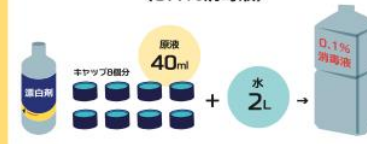
Q4 感染したかもしれないと思ったら？

おう吐や下痢などが続くときは、脱水症状にならないよう水分補給に注意し、医療機関で受診しましょう。

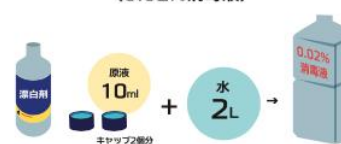
消毒液の簡単な作り方(塩素系漂白剤の希釈方法:原液濃度5～6%の場合※)

※原液濃度により目的の濃度よりも若干濃くなる場合があります。

おう吐物・ふん便が付いた場所、物の消毒用(0.1%消毒液)



トイレのドアノブ、水栓レバー、便座、衣類、食器等の消毒用(0.02%消毒液)



使用上の注意点

- ・容器の「使用上の注意」を必ず確認する。
- ・効果が弱まるため、作り置きはしない。
- ・汚れが残っていると効果が弱まるので、できるだけ汚れを取り除いてから使用する。
- ・誤飲、誤使用を防止するため、希釈後の容器に「消毒液」等と記載しておく。



令和2年11月 登録番号(2)21
編集・発行 東京都健康安全研究センター企画調整部
健康危機管理情報課
電話 03-3363-3472

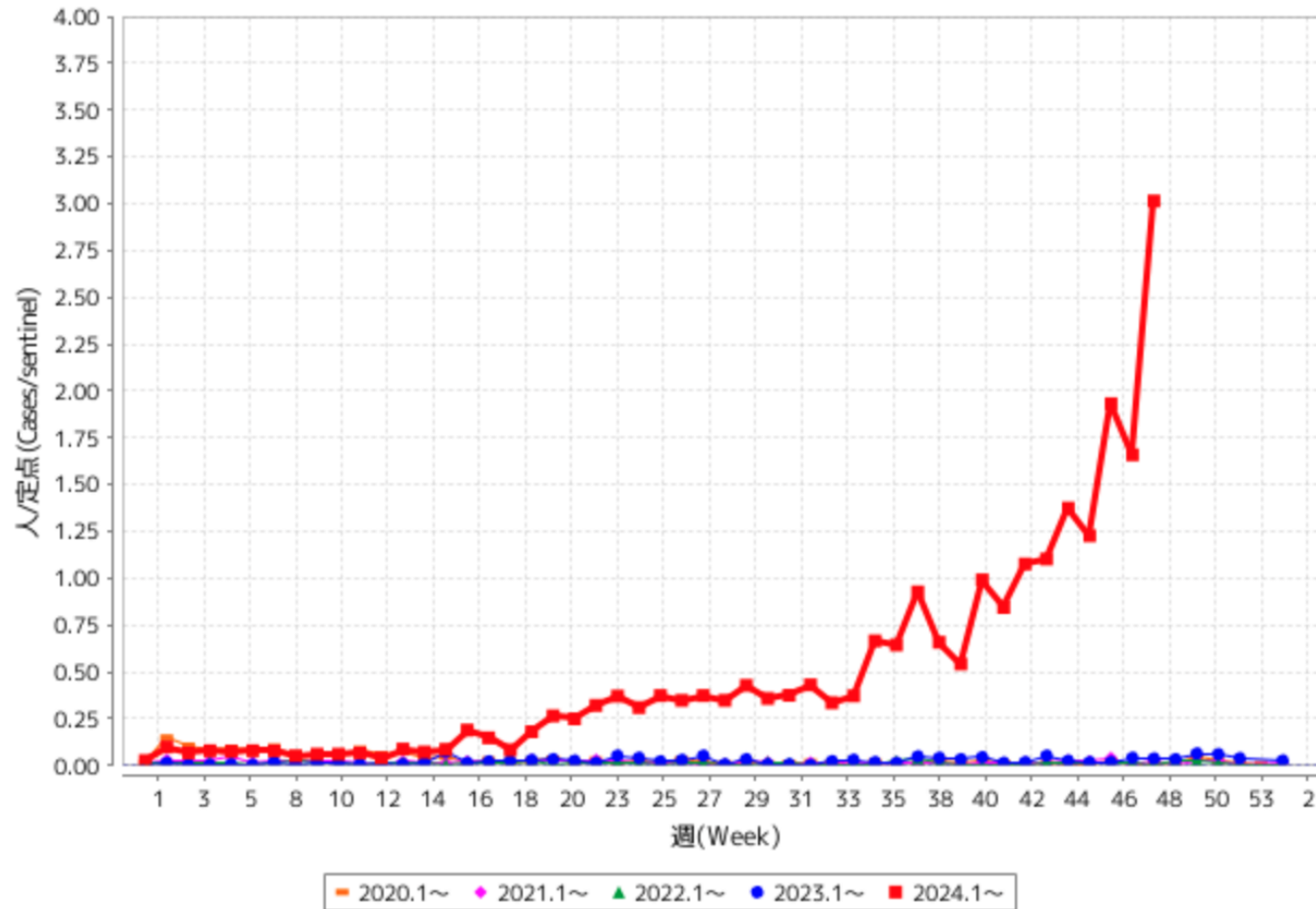
東京都ホームページ
「食品衛生の意」はこちら



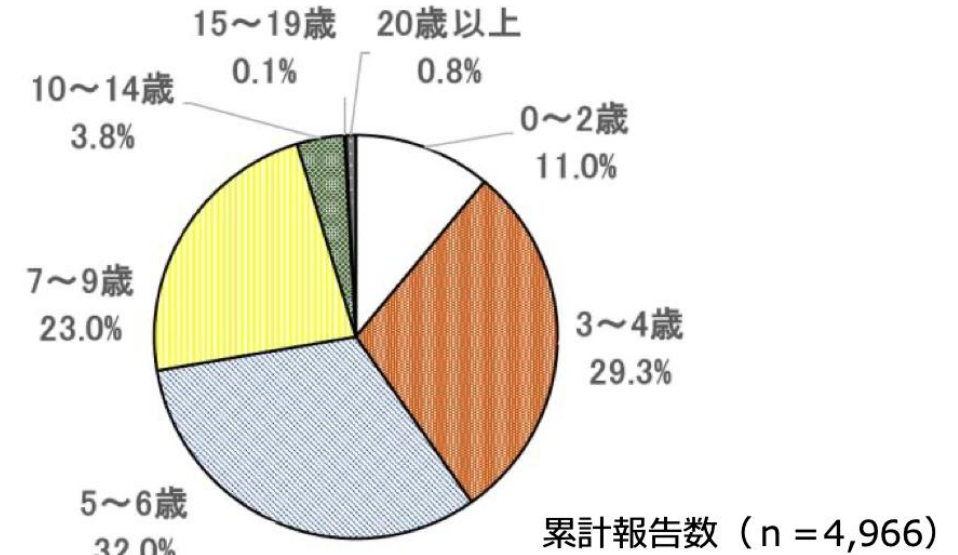
家庭でできるノロウイルス対策

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/pamphlet2/files/noro_tomin_r2.pdf

伝染性紅斑（リンゴ病）



(C)2002-2024 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health



伝染性紅斑の患者報告数の年齢階層別内訳
(2024年第1週から第46週分)

伝染性紅斑（リンゴ病）



- ヒトパルボウイルスB19による感染症
- 飛沫感染や接触感染により伝搬する
- 潜伏期・・・4～20日（この間にウイルスを排出）
- 症状：両頬に境界明瞭な紅い発疹、腕や大腿に網目状の発疹
微熱
症状が出た時には、他者への感染力はほぼ消失している
- 妊娠中に感染した場合、流産や胎児の異常（胎児水腫）を生じることがある

伝染性紅斑が増えています！



どんな病気？

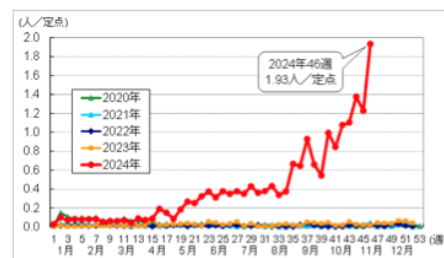
子どもを中心に流行するヒトパルボウイルスB19を原因とする感染症です。
子どもの場合は一般的には順調に回復しますが、大人がかかると関節炎や頭痛など、さまざまな症状があらわれることがあります。特に、妊娠中にかかると流産や胎児の異常が生じることがあるため、感染予防や感染した際の経過には注意が必要です。

どうやって感染するの？ 症状は？

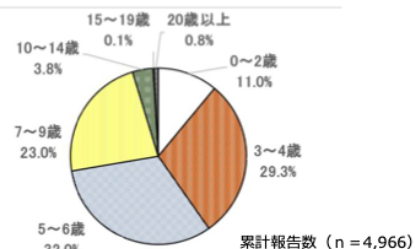
患者の咳やくしゃみなどのしぶきに触れることによって感染（飛沫・接触感染）します。
症状は、約10日間の潜伏期間の後、両ほほに紅い発疹が出現し、続いて体や手・足に網目状の発疹が現れ、1週間程度で消失します。発疹が淡く、他の疾患との区別が難しい場合もあります。
多くの場合、両ほほに発疹が出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられることが多く、この時期が一番人にうつしやすくなります。発疹が現れる時期には、感染力もほぼ消失します。

どれくらい多いの？

近年は報告の少ない状況が続いていましたが、2024年第46週（11月11日～17日）において、定点当たり報告数が31保健所中15保健所で警報レベルを超え、保健所管内人口の合計は、東京都全体の57.75%となり、警報基準に達しました。警報基準に達したのは2018年以来です。



東京都における定点当たり患者報告数（伝染性紅斑）（過去5シーズン）
東京都感染症発生動向調査より <https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/>



伝染性紅斑の患者報告数の年齢階層別内訳
（2024年第1週から第46週分）

治療や予防法は？

特別な治療方法はありません。患者の症状に合わせた対症療法が行われます。
ヒトパルボウイルスB19はアルコール消毒の効果が乏しいため、流水と石けんによる手洗いをしっかり行うことが大切です。また、周りに広げないよう咳やくしゃみをするときには、口と鼻を覆う、咳がある時はマスクをしましょう。
特に、妊娠中あるいは妊娠の可能性がある女性は、周囲で患者発生がみられる場合、感冒様症状の人や患者との接触をできる限り避けるよう注意をしてください。また、保育園等で流行がみられる場合には、送り迎えを控える等の対応が必要です。

秋から冬に流行る感染症の予防（ワクチン）

- 呼吸器系感染症

 - インフルエンザウイルス（A型、B型）

 - ・・・毎年秋に接種

 - 新型コロナウイルス・・・毎年秋に接種

 - 65歳以上は費用助成あり

- 消化器系感染症

 - ロタウイルス・・・生後2か月から2～3回接種

 - ノロウイルス・・・ワクチンはない！

- その他

 - パルボウイルス（伝染性紅斑）・・・ワクチンはない！

インフルエンザワクチン

- 注射・・・不活化ワクチン

対象：生後6か月以上

接種回数：3～4週間隔で2回（≦12歳）
1回（13歳≦）

- 点鼻（鼻腔内噴霧）・・・生ワクチン

対象：2歳以上19歳未満

要注意者：ゼラチンアレルギー、
基礎疾患を有する者（心臓血管系疾患、
腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等）、
痙攣の既往、免疫不全、重症喘息

受診までの過ごし方

- 熱が出た！
解熱剤（アセトアミノフェン）：38.5℃以上でぐったりしている、ひどくぐずるような時に使用する。機嫌良く元気なら不要。
- 吐いた！
慌てて飲ませない！吐いた直後は口をすすぐだけ。
2～3時間様子を見てから、少量ずつ再開する。
- 下痢をした！
スナック菓子や油物を控えれば通常食で可。
食べたがらない時は、経口補水液を少量ずつ頻回に飲ませる。
お尻はゴシゴシ擦らないで、ぬるま湯で洗う。